

# 豪横断の風間さんサポート



渡辺義孝医師

山梨市出身の冒険家風間深志さん(58)が障害者と一緒に自転車を乗り継いで挑戦するオーストラリア大陸横断に、国立病院機構甲府病院スポーツ膝疾患治療センターの整形外科医・渡辺義孝さん(34)の同行が決まった。全行程5千キロのうち、1047キロを風間さんらとともに自

国立甲府病院の渡辺医師

## 自転車で1047キロ並走

転車で走る。

大陸横断企画は、骨や関節など運動に必要な器官の重要性を訴える世界運動「運動器の10年」の一環。日本人とオーストラリア人の障害者がペアを組み、西海岸のパスから東海岸のシドニーまでを約1カ月かけて走破する。風間さんや日本人医師4人がリレー形式で並走する。

「体力には自信がある」という渡辺さん。富士河口湖高時代はポート部に所属、インターハイで優勝した経歴を持つ。現在は昭和町の自宅から自転車で通勤。前勤務先の萑崎・県立あけぼの医療福祉センターも往復30キロを自転車で通った。休日は、自宅から御坂峠を経由し忍野村の実家まで、往復3時間で走り切る。

「ハンディに負けず走るメンバーをしっかりとサポートしたい」と話す渡辺さん。29日に日本を出発、31日からメンバーと走行する。

区間といわれる直線道路約140キロも含まれる。